

くらし、福祉、子育て、教育優先に予算の組み換えを!!



市には自由に使える「普通貯金」ともいえる財政調整基金と減債基金があります。R1年度末で61億9千万円あり、R2年度の予定の取り崩しをしても約48億円残ります。この活用も有効です。

もちろん、現在の市の歳出予算の見直し、とくに西港建設、鉄道高架を見直すこと。これらは主として市の借金で事業費を賄うものですが、こうした大型開発ではなく、市営住宅の建設、津波避難タワーの建設などに切り替えていくことも提案します。

市の提案した予算案には、新型コロナウイルス対策は何もないんじゃないか。それでもいいのかのー？



村上千枝 20. 4. 12
通信

発行 日本共産党釧路市議団 電話 23-5212

①消費税の増税分の一部が、地方消費税交付金として市に交付されます。市民の暮らしを壊す消費税なので、その交付金は市民の生活を守るために使いましょう。2020年度の市の増額分は、

4億6千万円

②法人税などの地域偏在を是正するため、「地域社会再生事業費」として、国は総額4200億円を全国に配分。釧路市への配分は、

約2億円

③市民税、固定資産税の税収増が見込まれます。皆さんの払ったものですから、使い道は生活最優先に。その金額はあわせて、

3億6千万円

これだけで10億2千万円、自由に使える市の一般財源が2020年度は増えます。

このお金を市民の暮らしを温めるために使います



- ①子どもの医療費を中学校卒業まで無料にするための経費 1億9,600万円
- ②学校給食費(小中学生)を無償化する経費 6億1,500万円
- ③国保料を大幅に引き下げるために
中学校卒業までの子どもの均等割を無料にするためには、 4,870万円
- ④市営住宅の空き家修繕の臨時費35戸分を上乗せ(1戸当たり50万円) 1,750万円
- ⑤教育費の完全無償化をめざして、当面、父母負担を現行の1/2にする。
教材費の負担を1/2にするため学校配当予算を増額 2,892万円
修学旅行代、小学生1万円、中学生2.5万円を補助 4,400万円
- ⑥農漁業の後継者に月5万円の後継者就業交付金を創設(5人分) 300万円

合計9億5,312万円で実現できます

市民要求の実現をはかるには、確かな財源をしっかりと示すことが特に大切です。共産党議員団は代表質問で、子育て支援・市営住宅・農漁業の後継者確保の3つについて、次のように財源も示して、その実現を求めました。



共産党代表質問
(村上千枝議員)

根拠ある財源も示して建設的提案